

世界の英知を結集して取り組む 環境放射能の動態と影響を解明する先端研究拠点の整備

資料1

東京電力福島第一原子力発電所事故を契機として・・・

放射性物質の放出により、低線量被ばくによる長期的な自然界への影響が懸念されている！

動態と影響の解明

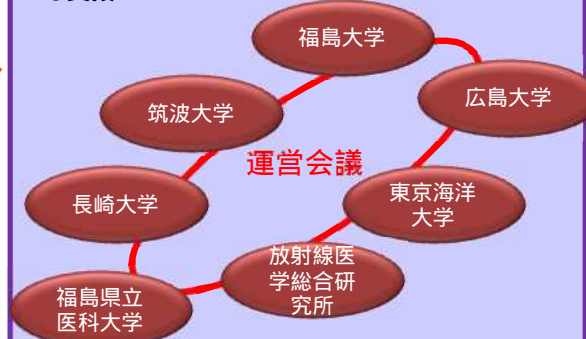
福島大学 環境放射能研究所の新設

設置目的

世界の研究機関と連携し、温帯多雨地域における環境への放射性物質による長期的な影響の調査・研究を行い、環境放射能動態を解明する。

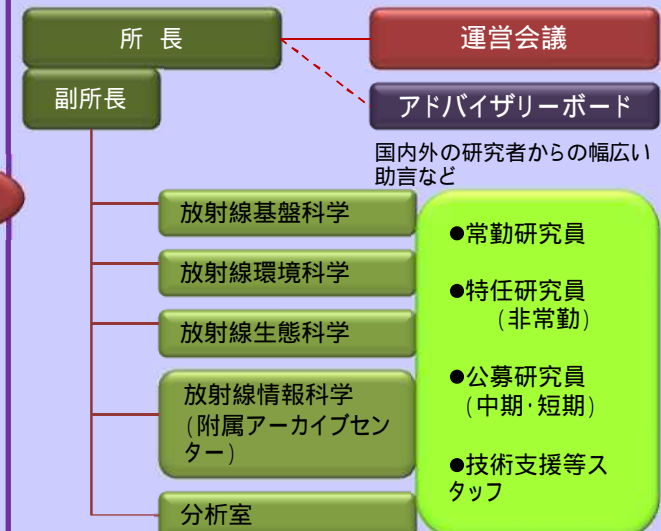
オールジャパンによる研究所の運営

放射能研究に識見のある連携研究機関の協力に基づく運営と関連学術コミュニティからの強力な支援



国際放射生態学連合(IUR)、日本水産学会、日本地質学会、日本気象学会、大気環境学会 など

開かれた 組織と研究スタッフ



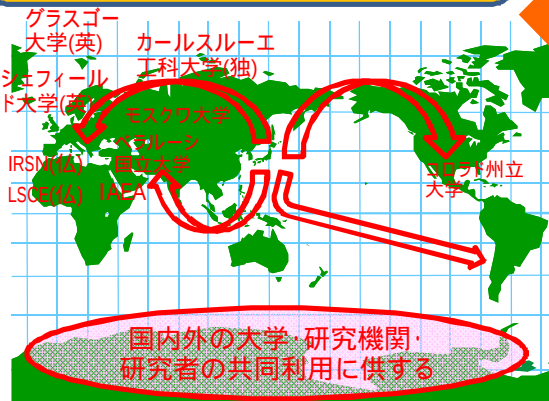
- 常勤研究員
- 特任研究員 (非常勤)
- 公募研究員 (中期・短期)
- 技術支援等スタッフ

主な事業

- 環境中の放射性物質の長期的動態調査
- 環境中の放射線や放射性物質を測定するための測定原理などの技術開発
- 環境中の放射線物質が食物連鎖を通じて動物に移行するメカニズムの解明
- 放射性核種が気象現象等により存在形態が変化し移行するメカニズムの解明
- 環境復旧対策支援にかかるシンクタンク機能
- 資料・試料の保管と研究手法及び研究対象物のアーカイブ

【連携協定締結機関】

広島大学・長崎大学・ベラルーシ大学・放射線医学総合研究所・日本原子力研究開発機構



協力

期待される効果

学々連携協力と異分野の融合による
学術研究の新たな展開と体系化

環 境

福島大学

環境放射能研究所

- 継続的な環境放射能の研究
 - 1) 放射線基盤科学
 - 2) 放射線環境科学
 - 3) 放射線生態科学
 - 4) 放射線情報科学(アーカイブ・情報発信センター)

福島県

福島県環境創造センター

- 環境モニタリング
- 環境回復・創造技術の調査・研究
- 情報収集・発信
- 教育・研修・交流

福島県立医科大学

放射線医学・最先端診断に係る研究開発拠点

- 放射性薬剤を用いた最先端診断の研究開発
- 放射性物質の生態系を通じた人々の影響調査
- 低線量域における被ばく線量モニター

健康医学

学術研究と環境放射能科学の体系化

直接的な住民サービス

福島県における放射能汚染
関連拠点の連携

連携

連携

連携